



転倒災害を防止しましょう。

～冬は、転倒災害が増加します～

年末年始は要注意!

転倒災害の主な原因

▶ 転倒災害は、大きく3種類に分けられます。皆さまの職場にも似たような危険はありませんか？

<p>滑り</p>  <p><主な原因></p>	<p>つまずき</p>  <p><主な原因></p>	<p>踏み外し</p>  <p><主な原因></p>
<ul style="list-style-type: none"> 床が滑りやすい素材である。 床に水や油が飛散している。 ビニールや紙など、滑りやすい異物が床に落ちている。 	<ul style="list-style-type: none"> 床の凹凸や段差がある。 床に荷物や商品などが放置されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 大きな荷物を抱えるなど、足元が見えない状態で作業している。

転倒災害防止対策のポイント

▶ 転倒災害を防止することで、安心して作業が行えるようになり、作業効率も上がります。

4S(整理・整頓・清掃・清潔)	転倒しにくい作業方法	その他の対策
<ul style="list-style-type: none"> 歩行場所に物を放置しない 床面の汚れ(水、油、粉など)を取り除く 床面の凹凸、段差などの解消 	<ul style="list-style-type: none"> 時間に余裕を持って行動 滑りやすい場所では小さな歩幅で歩行 足元が見えにくい状態で作業しない 	<ul style="list-style-type: none"> 作業に適した靴の着用 職場の危険マップの作成による危険情報の共有 転倒危険場所にステッカーなどで注意喚起

転倒災害防止対策を効果的に進めるために・・・

- 経営トップは、率先して行動し、労働者の安全意識の啓発を図りましょう。
- 事業場ごとに、旗振り役として、安全管理者または安全推進者を配置しましょう。
- 作業開始前のKY(危険・予知)活動、作業時の指差し呼称、ストレッチ体操などを推進しましょう。
- 危険の「見える化」及び安全教育の充実を図りましょう。



日光労働基準監督署 転倒災害発生状況

